

大会名 Competition	第25回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-113	Year Month Day Time 2012 年 5 月 5 日 12 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



NOSHIRO
CUP' 12

チームA 能代工高	<table border="1"> <tr><td>16 1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>16 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>20 3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>11 4th</td><td>21</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	16 1st	19	16 2nd	20	20 3rd	21	11 4th	21	OT		チームB 洛南
16 1st	19											
16 2nd	20											
20 3rd	21											
11 4th	21											
OT												
63 ●		81 ○										

主審:Referee 蒲 健一
副審:Umpire 久米 克弥 堀内昌浩
テーブルオフィシャル:Table officials 能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	土屋 真人	cap	17	1	7	0	1	4	×	河合 祥樹	CAP	10	0	3	4	1
5	×	佐々木 健登		7	0	3	1	3	5	×	仁平 拓海		11	0	5	1	3
6	/	松本 大河		6	0	3	0	2	6	/	寺部 亮佑		12	0	4	4	0
7	/	野里 惇貴		14	2	4	0	3	7	×	宮脇 隼人		9	0	3	3	2
8	/	三根 一求		0	0	0	0	1	8	/	西戸 良		11	2	2	1	2
9		畠山 凌		-	-	-	-	0	9	×	成田 穂高		5	1	1	0	0
10	×	中島 強太		17	0	6	5	4	10	/	新城 隆平		12	1	4	1	1
11	/	五十嵐 駆		2	0	1	0	2	11	×	森井 健太		11	1	4	0	3
12	×	小田桐 匡志		0	0	0	0	1	12		渡部 裕地		-	-	-	-	0
13	×	長谷川 暢		0	0	0	0	0	13		熊瀬川 孝弘		-	-	-	-	0
14		吉川 雄磨		-	-	-	-	0	14		竹村 蓮		-	-	-	-	0
15		荒木 直		-	-	-	-	0	15		光内 成希		-	-	-	-	0
16		伊藤 諒哉		-	-	-	-	0	16	/	村井 睦		0	0	0	0	0
17		安保 友貴		-	-	-	-	0	17		菅 祐史		-	-	-	-	0
18		渡邊 竜也		-	-	-	-	0	18		澤田 絢以		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 信長							コーチ		吉田 裕司						
Aコーチ		平山 智哉							Aコーチ		作本 信夫雄						
合計				63	3	24	6	17	合計				81	5	26	14	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q,両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。洛南#4河合のゴール下で先制するも、能代工も#10中島が1対1からカットインを仕掛け、ファウルをもらいフリースローで入れ返す。その後も能代工#4土屋のカットインなどで得点を重ねるが、洛南は#9成田#10新城が3Pを決め一進一退の展開となる。能代工がインターセプトからの速攻で流れをつかむかに見えたが、洛南#6寺部のゴール下、#10新城の速攻で連続得点し16-19洛南3点リードで第1Qを終了。

第2Q,能代工は#10中島の速攻や#6松本のカットインで得点するが、洛南も#6寺部のゴール下で応戦する。中盤、洛南の激しいディフェンスにシュートを決めきれない能代工に対し、洛南は#11森井のドライブや#4河合のジャンプシュートで残り3分には37-26とリードを広げる。終盤、能代工は#4のジャンプシュートや#7野里のカットインで得点し、32-39洛南7点リードで第2Qを終了。

第3Q,立ち上がり能代工#7野里の3Pや1対1からのドライブなどで2点差に詰め寄るも、洛南#7宮脇のゴール下、#5仁平のジャンプシュート、#4河合のフリースローやカットインなどで再びリードを14点に広げる。ここで能代工はタイムアウトを取り、ゾーンプレスからの2-1-2ゾーンにディフェンスを変える。#5佐々木の速攻や#7野里の3Pなどシュートが決まりだし、残り2分で5点差に詰め寄る。洛南もタイムアウトを取ってディフェンスのプレッシャーを強め、#8西戸のスリーポイントや#11森井のゴール下で得点し、52-60洛南8点リードで第3Qを終了。

第4Q,能代工の2-1-2ゾーンを攻めきれない洛南に対し、能代工は#4土屋の速攻やドライブで4点差に詰める。洛南がオフェンスリバウンドから#8西戸のゴール下を決めると、残り6分能代工は後半2回目のタイムアウトを取る。追いつきたい能代工は#4土屋が3Pを決めるが、洛南#8西戸も3Pを入れ返し譲らない。残り3分、洛南#5仁平にリバウンドからゴール下を決められ、9点差となったところで能代工が3回目のタイムアウトを取る。しかし流れを変えることができず、洛南#7宮脇のゴール下や#8西戸のドライブで点差を広げ、63-81で洛南が勝利した。